

広報

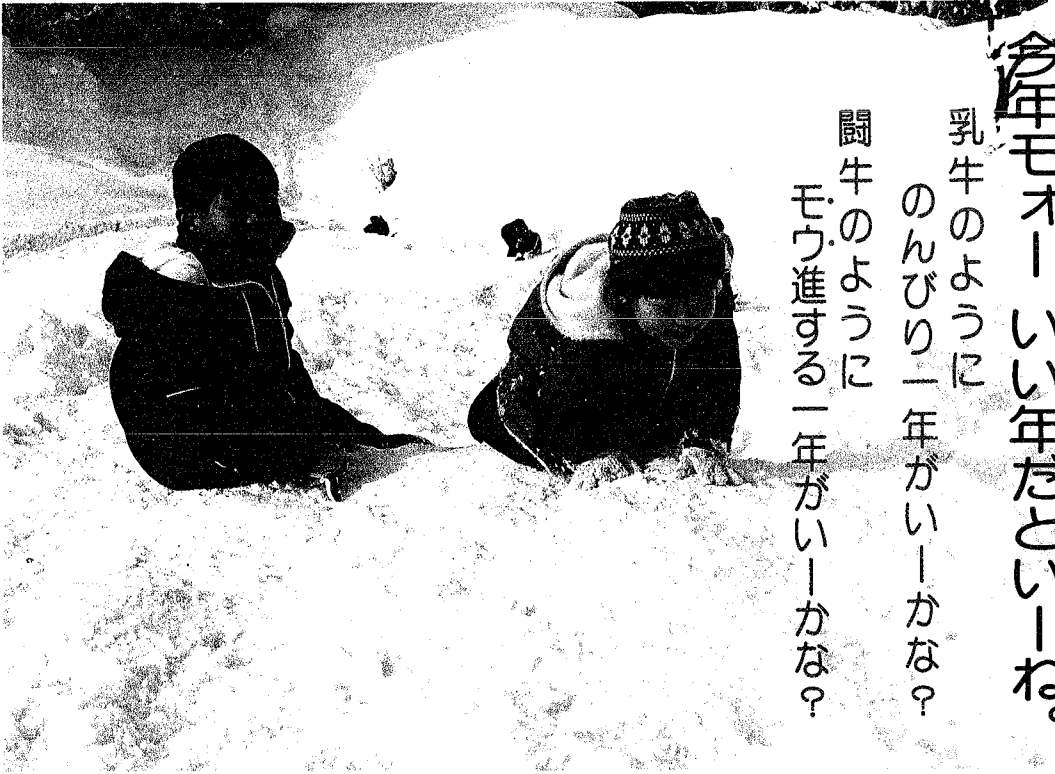
とすとど

1985 1/1

NO. 142

発行所 小須戸町役場行政課

印刷所 有限会社 玉庭印刷所



今年モオーいい年だといーね。

乳牛のように

のんびり一年がいーかな？

闘牛のように

モウ進する一年がいーかな？

あけましておめでとうございます。今年はいし年、あなたは牛といふとどんな連想をしますか。のんびり、のっそり、厚いビフテキ、牛肉の貿易自由化問題、いろいろでしょう。牛が田畑を耕しているのを見たことのない今の若い人々には童話の世界に出てくるようなベットのイメージが強いです。

しかし、歴史をさかのぼってみると、牛による耕作は紀元前三〇〇〇年ごろ、メソポタミアやエジプトで行われていたそうです。その後、交通や運搬にも活躍し、十七〜十八世紀になって蒸気機関の発明、技術が進歩されるまで、牛は「新技術」として君臨してきました。

この町でも、農家に牛が見られなくなったのは三〇年くらい前でしょうか？

さて、うし年、モウ烈に生きるもよし、のんびり人生を反芻しながら生きるもよし、ともかく角つき合わさず仲よくいきましよう。

